

り着くまで時間を要したという。意外な展開で注目されたが、

が拇印を押すというアイデア演出も。

られ、中にナタデココが入っているグラスが「当たり」と

▲オープンキャンパスの風景

▲寄付したことを証明するウェルカムボード

新提案 今春3月『KAORUKO HOUSE』オープン



▲ピンクがキュートなブーケ



◀ 流れを感じさせるアレンジ

花を基軸にウエディングをプロデュース

「ブーケを創って欲しい」と訪れているほどだ。また東北のホテルでは、会場装花からブーケにいたるまで、花だけで300万円を超える注文を数件依頼されるなど、花をポイントとしたコーディネートを求める声があったことから、実現に至った。

「結婚式のステージは変わってもブライダルブーケは変わりませんでした。パターン化されたなかから選んでいました。ブーケは脇役ですが、アレンジ次第で女性を一層、輝かせることができる力を持っています」と花の持つ不思議な力を提唱するKAORUKO女史。

可愛らしさを求める女性たち

実際、1月に渋谷で開催された10～20代を対象としたウエディングコレクションでは、KAORUKO女史のアレンジしたブーケやヘッドドレスが人気だった。今後は、日常の生活やフ

ァッションの一部として花を取り入れるアレンジの提案も進めていく計画だ。

さらにステージの企画企業ではショーに集った来場者から、ドレス以上にフラワーアレンジが「かわいい」と評判だったことから、携帯や近い将来テレビ番組で同女史のアレンジや、人物そのものにスポットをあてた番組を企画することになった。

「その方の持つ雰囲気や年齢によりアレンジは異なります。しかし共通しているのは、何歳になっても“可愛らしさ”をどこかに取り入れたいという思いです」と女性の持つ根本的な真理を語る。

グレー系のアレンジにキラキラ光るものを加えたり、落ち着いたグリーン系の大人の雰囲気のアレンジにも、どこことなく可憐な印象を与える雰囲気を創り出すなど、1人1人違うアレンジを提供していく考えだ。



フラワーデザイナー
KAORUKO氏

また会場においても同様に、基本的なアレンジは提示するものの、列席者層や基本テーマに合わせたアレンジをトータルでコーディネートしていく。



▲大胆に花をアレンジ

フラワーデザイナーとして活躍中のKAORUKO女史は今春3月22日、ヴァンサンカンウエディングへの広告出稿を機に、『KAORUKO HOUSE』(東京都港区)を本格的にスタートする。花を機軸としたウエディングプロデュースで、施設も含めた取り組みは業界初の試みとなる。

施設は元々、ジャスマックが運営していたゲストハウスだったが、競合が相次ぐなかで、新たな切り口で提案するKAORUKO女史に賛同し、スタートすることになった。富裕層をターゲットとした展開をするにあたり、広告掲載は、同女史が連載しているヴァンサンカンウエディングとし、ブックインブックのスタイルでデビューする。

すでに都内の一流ホテルで結婚式を行う予定の女性が、『KAORUKOさんアレンジのブ